

芸術科 書道Ⅲ 授業シラバス

教科	科目名	単位数	学年	学級
芸術科	書道	2	3学年	文系選択

1 学習目標

学習の到達目標	・表現と鑑賞を有機的に関連させて展開される書道の創造的な諸活動をとおして書を愛好する心情を育てるとともに感性をさらに高めていく。 ・書の文化や伝統について理論的な側面を含めて理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばしていく。		
使用教科書・副読本等	東京書籍 「書道 Ⅲ」	学習形態	

2 学習計画

<評価の観点> 1 関心・意欲・態度 2 話す・聞く能力 3 書く能力 4 読む能力 5 知識・理解

学期	月	学習項目	学習内容	考 査 等
1 学期	4	一 書之美を求めて	書道3の学習への導入を図り、学習態勢を整える。 書の学習の在り方や芸術についての理解を深め、文化との関わりの中で伝統的文化を尊重し、育成する態度を養う。	前期中間考査
	5	Ⅱ 楷書	楷書の美しさの多様さを知らせる。さまざまな結構法、用筆法を学び創作活動を視野に入れた臨書指導を行う。	
	6	Ⅲ 行書・草書	李柏尺牘稿と喪乱帖の二つの作品と比較して、その違いはどこから感じられるかを話しあう。 書譜の優れた古典臨書を学ぶことで、高度な運筆や表現方法を学ぶ。 時代の変遷と共に宋代名家の作品から個性化、多様化された表現を学ぶ。	前期期末考査
2 学期	9	二 漢字の書の学習 Ⅰ 篆書・隸書	漢字の書流れを概観し、それぞれの書体の持つ特徴や美について理解を深める。 泰山刻石などの果たした意義を理解させる。小篆を用いて楽しく表現する意欲と態度を育てる。	10月実力考査
	10		篆書から隸書への変遷を学び用筆や運筆を構成により一層理解を深め、張遷碑や乙瑛碑など鑑賞し創作作品の表現の幅をひろげる。	
	11	三 仮名の書の学習	中国の漢字を基にしてきた仮名の過渡的な姿を理解する。 和様独特の温雅な書風を味わう。 たくさんの古典に触れ仮名独特の空間や体裁を学ぶ。 表現技法の追求から、それらから離れた表現への理解を深めさせる。	後期中間考査
	12		中国の漢字を基にしてきた仮名の過渡的な姿を理解する。 和様独特の温雅な書風を味わう。 たくさんの古典に触れ仮名独特の空間や体裁を学ぶ。 表現技法の追求から、それらから離れた表現への理解を深めさせる。	
	1	四 漢字仮名交じり書の学習	精神の躍動としての言葉と書表現の関連について考えさせ用具用材の工夫により楽しく幅広い表現を学ぶ。 言葉をいかしきった書が、豊かな日常生活にどのように寄与するか考えさせる。	後期期末考査

3 学期	2	五 篆刻・刻字の学習 Ⅰ 篆刻	篆刻への関心を深め、多様な表現を試みる。 身のまわりの書文化への理解を深め総合的な視点で書を把握し積極的に日常生活に取り入れていく態度を育成する。	学年末考査
	3	Ⅱ 刻字	創作の手順に従い、刻字作品を制作する。 創作参考作品を鑑賞する。	

【年間の評価】

- ・平常点（授業への取り組み・出席・授業態度・課題の提出状況等）を5割とする。
- ・作品提出物の素点を4割とする。
- ・プリントの素点を1割とする。

学習アドバイス

- ・自らの感性に基づき対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かう。
- ・技法の習得においては自分の解決すべき課題や問題点を見極めながら練習する習慣を身につけたい。
- ・創作においてはなどについてより感興に応じた表現を目指し、詩文や用具・表現形式などについてより効果的なものを積極的に選択したい。
- ・得られた感性は何に由来するものか、用具・用材・構成、また作者や時代背景といったさまざまな要素について考え分析する。